

各 位

上場会社名 株式会社 ナ・デックス
 代表者 代表取締役社長 坂井 有
 (コード番号 7435)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 福島 國彦
 (TEL 052-323-2211)

業績予想数値と実績数値との差異に関するお知らせ

平成22年12月3日に公表いたしました平成23年4月期の業績予想数値と本日公表いたしました実績数値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年4月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,135	405	420	270	28.96
今回修正予想(B)	17,985	484	556	303	32.59
増減額(B-A)	△2,150	79	136	33	
増減率(%)	△10.7	19.5	32.4	12.2	
(ご参考)前期実績 (平成22年4月期)	14,009	△726	△681	△965	△103.59

平成23年4月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,430	235	210	90	9.65
今回修正予想(B)	15,543	282	294	63	6.80
増減額(B-A)	△1,887	47	84	△27	
増減率(%)	△10.8	20.0	40.0	△30.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年4月期)	12,413	△398	△346	△615	△65.95

修正の理由

当連結会計年度における我が国経済は、企業収益が改善するなど緩やかながら景気は回復しておりますが、厳しい雇用環境、長引く円高、資源価格の上昇などに加え、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要得意先である自動車関連企業につきましては、国内ではエコカー補助金の終了に伴い生産に一服感があるものの、アジアの新興国を中心とした輸出が好調に推移し生産台数は増加しましたが、設備の過剰感が残っており依然として設備投資には慎重な状況が続いております。また、電気機器関連企業につきましては、生産回復に伴い堅調な推移となりました。

このような経済環境のもとで、当社グループは提案性の高いエンジニアリング営業の強化や新商品・新規市場の開拓を進めるとともに、自社製品であるウエルドシステムにつきましても新製品を投入するなど、積極的な営業展開を進めてまいりました。

【個別の差異の理由】

売上高は、回復の兆しが表れ始めておりますが、新規の設備投資には慎重で、依然として厳しい状況が続いており、155億4千3百万円と前回発表予想の174億3千万円から18億8千7百万円減少いたしました。営業利益は、付加価値の高いエンジニアリング営業や自社製品であるウエルドシステムの売上増加に伴う利益率の向上および経費削減などにより2億8千2百万円と前回発表予想の2億3千5百万円から4千7百万円増加し、経常利益は、為替差損の減少などにより2億9千4百万円と前回発表予想の2億1千万円から8千4百万円増加しましたが、当期純利益は、減損損失1億5千万円などの計上により6千3百万円と前回発表予想の9千万円から2千7百万円減少いたしました。

【連結の差異の理由】

個別の修正の理由と同様の要因により、売上高は179億8千5百万円と前回発表予想の201億3千5百万円から21億5千万円減少し、営業利益は4億8千4百万円と前回発表予想の4億5百万円から7千9百万円増加いたしました。経常利益は、持分法投資利益の増加などにより5億5千6百万円と前回発表予想の4億2千万円から1億3千6百万円増加し、当期純利益は3億3百万円と前回発表予想の2億7千万円から3千3百万円増加いたしました。

以上